

■ 隊中様・宮野政助の墓 (下恋路)

幕末、来島又兵衛の遊撃軍の狙撃隊に入隊し、全国各地を転戦しました。明治維新後、常備軍の選にもれた脱退兵を組織して山口藩庁を包囲した罪で、極刑に処せられました(享年31歳)。後年、下恋路の地に追善の墓碑が建立されています。

■ 涼山 (竜花)

宮野小の校歌にも詠われている涼山(標高495.8m)は、宮野地域の北部に位置し、「防長百山」にも記載されています。山頂からは、宮野の里の全域が見渡せ、元旦のご来光を迎える新春登山で親しまれています。

また、山頂には、秋葉様が祀られており、4月の例祭には登山者で賑わいます。

■ 江良不動尊・不動明王の滝 (江良)

江良川の上流域に不動明王の滝があり、明王の不動尊が祀られています。周辺の森林が伐採されるまでは、神域にふさわしく森閑としていました。不動明王は、仏教を守る神の一つで、怒りの表情で右手に剣、左手になわを持ち、火炎を背にした像が鎮座しています。

■ 荒谷ダムと宮野湖 (泉)

宮野の奥地荒谷に昭和63年に完成した多目的ダムで、山口県と山口・小郡地域広域水道企業団が、17年の歳月と費用を投じて建設したダムです。この貯水池は宮野湖と命名され、湖畔にはソメイヨシノが植栽され、桜の名所となっています。また、湖を取り巻く森林は、宮野財産区有林からなり、水源涵養や木材生産の場として、宮野地域の発展に大きく寄与しています。

■ 花立観音堂 (熊坂)

もと真言宗の大照寺という寺で、大内氏が山口に館を移す前の文永3年(1266年)に大内広貞が創建したものと伝えられています。本尊は十一面観音菩薩像で20年に一度の開帳仏です。毎年、7月16日に例祭が開催されます。

■ 足王様 (中恋路)

中恋路の田んぼの中に五重の石塔がひときわ目立つお堂が足王様です。足王様は、足の病気にご利益がある神様としておまいりする人が多く、小さなわらじを持参してお供えをします。毎年4月の第1日曜日に足王祭が行なわれるほか、8月24日の地藏盆にはお接待があります。

■ スポーツの森 (河原)

平成7年3月に建設されました。施設としては、西京スタジアム、第二球場、多目的広場が整備されています。西京スタジアムは、両翼100m、センター122mの規模を持ち、観客収容人員は15,000人です。多くの球児、野球愛好者に活用され、プロ野球ファンはもとより広く市民の方々に親しまれる施設となっています。

■ 仁壁神社の社叢 (折本)

仁壁神社は、周防三ノ宮とも呼ばれる古社で、宮野の地名の起源となっています。神社の社叢は、ムクノキ、ムククロジ、ケヤキ、アラカシ、タブノキ、スギなどの巨樹が取り囲んでいます。

■ 木戸山公園 (岩杖)

木戸山公園は、昭和38年の山口国体の開催に併せて開設された国道9号線の開通を記念して、40年から植栽された桜並木と併せて、宮野地域の住民が、宮野財産区有林にサクラやカエデを植栽して公園として整備したもので、市民の憩いの場となっています。この公園では、毎年、4月上旬に、観桜会が盛大に開催されています。



宮野名勝巡回絵図

ウォーキングで“宮野の里”を再発見

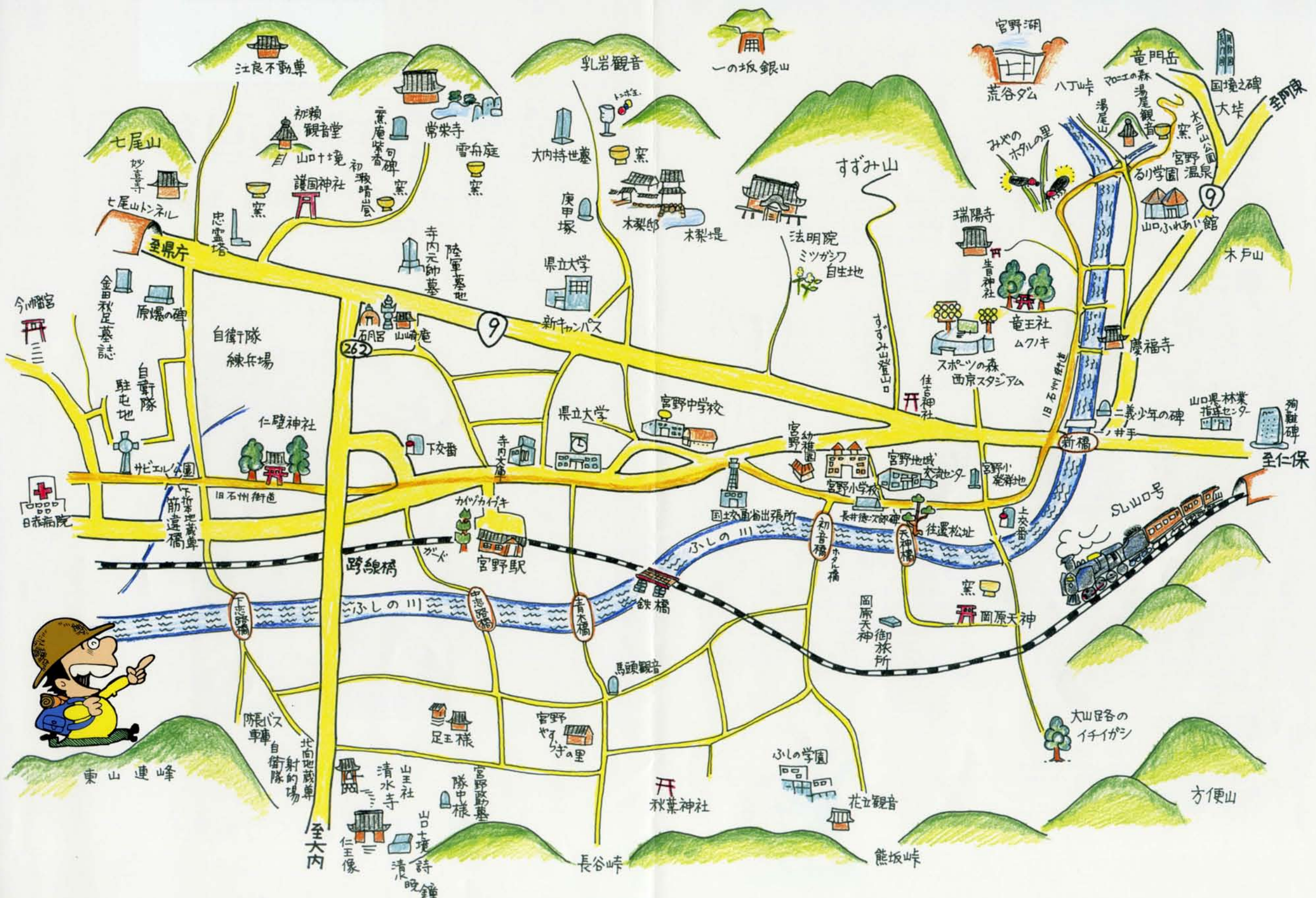
～ 明るく 楽しく 元気よく ～

- ★歩く前にストレッチを!!
- ★帽子・長袖・長ズボン・手袋・シューズ姿で軽快に!!
- ★水分補給はこまめにとりましょう!!
- ★五感を活かして宮野をまるごと体感しましょう!!



みやの歴史・文化・自然写真コンテスト
最優秀賞作品～石路の里～

宮野地区地域づくり協議会



東山連峰

ガイド解説

■ 岡の原天満宮 (大山路)

この神社は、社伝によると延喜5年(905年)の創建といわれています。祭神は学問の神様である菅原道真公です。現在の本殿は享保元年(1716年)、拝殿は昭和6年の建立といわれています。

■ 二義少年の碑 (石丸)

寛文年間のある夏、宮野はひでりつづきで、稲は枯死寸前でした。この折り恋路の2人の少年が、一の井手上流の13枚の井手をことごとく切って落とし、下流の農家の難を救いました。さらに藩に直訴、その罪により、処刑されましたが、お陰で、永年の水争いの解決をみました。村人は、その義拳をしのび石仏二基をつくって供養したと伝えられています。

■ 法明院のミツガシワ自生地 (住吉)

このお寺は、寺伝によると平安時代の長徳年間(990年代)に創建されたもので、長徳寺という天台宗のお寺でしたが、大永元年(1521年)に曹洞宗、寺号を法明院に改められました。裏庭の池には、市指定の天然記念物ミツガシワが自生しています。本種は、北方系の植物で、山口県が南限で開花期は、5月上旬です。

■ 常栄寺の雪舟庭 (平野)

この庭園は、常栄寺の本堂の北面にあります。15世紀後期に大内政弘が中世の画聖雪舟に命じて築庭したものと伝えられ、別名「雪舟庭」と呼ばれています。内庭の広さは、約30aあり、東北の隅に枯滝をかけ、中心に心字池を設け、その周囲には庭石を豊かに配しています。石は室町時代の庭園の特色となっている立石が多く使用されています。

■ 石風呂観音・山崎庵 (桜島)

宮野に現存する唯一の石風呂で、護法山山崎庵に設けられています。およそ300年近くたっていますが、これを保存するために、石風呂の上にお堂を建て、観音様を祀り「願かけ石風呂観音」として後世に遺されています。

■ 大山路のイチイガシ (大山路)

ブナ科の常緑高木で、目通り幹周り3m、樹高10mの大木です。山口市指定の保存樹。葉の裏や堅果(ドングリ)には、黄褐色の星状毛が密生します。花は4~5月に咲き、堅果は長さ2cmで秋に成熟します。

■ 竜王社のムクノキ巨樹群 (石丸)

竜王社は、別名綿積神社といい、仁壁神社の末社です。この社の境内には、大きなムクノキ5本があり、お宮をとり囲むように繁っています。一番大きな木は、目通り周囲5m、樹高25mあります。(市指定天然記念物)

■ 木梨堤のスイレン (上桜島)

木梨邸は、古く、燈清寺7坊の一つであった涌泉庵の地に、明治32年ごろ築邸され、屋敷の左奥の涌水を引いてつくられた堀が設けられています。この堤の湖面にスイレンが群生し、花の咲く頃はすばらしい美観となります。開花期は、6月中旬~下旬です。

■ 寺内元帥の墓・旧陸軍墓地 (西桜島)

寺内正毅は、萩藩士宇多田正輔の三男として嘉永5年平川に生まれ、後に寺内勳右衛門の養子となり、宮野に移住しました。陸軍大臣、初代朝鮮総督、元帥、内閣総理大臣を歴任し、大正8年11月3日に病死し、この地に埋葬されました。旧陸軍墓地は、寺内正毅の墓地の右上に設けられており、戊辰戦争以後の各戦争で戦死した士卒の墓石が多数あります。

■ 清水寺 (下恋路)

寺の創建は、寺伝によると、大同元年(806年)といわれ、千手観音菩薩を本尊とする真言宗の寺院で、山号を花滝山といい、山口盆地最古の寺院といわれます。趙秩「山口十境詩」の一つに「清水寺晚鐘」が詠じられ名高い。山門に安置されている阿形・吽形の仁王像は、南北朝時代の傑作です。境内では10月~11月頃、ツワブキの花とイロハカエデの紅葉が楽しめます。

宮野名勝巡回絵図探訪 ウォーキングコース



A コース (一般向き) 岡の原天満宮～法明院

宮野地域交流センター～岡の原天満宮～大山路のイチイガシ (市保存樹)～林業指導センター樹木園・資料館～二義少年碑～竜王社のムクノキ巨樹群～スポーツの森～法明院のミツガシワ自生地～宮野地域交流センター
(歩行距離約8km)

B コース (一般向き) 木梨堤～雪舟庭～石風呂観音

宮野地域交流センター～木梨堤～大内持世の墓～乳岩観音～雪舟庭～旧陸軍墓地・寺内元帥墓～石風呂観音・山崎庵～宮野地域交流センター
(歩行距離約9km)

C コース (一般向き) 馬頭観音～清水寺～花立観音堂

宮野地域交流センター～馬頭観音～中恋路石仏～宮野やすらぎの里～清水寺観音堂～隊中様・宮野政助墓～足王様～花立観音堂～宮野地域交流センター
(歩行距離約11km)

D コース (健脚向き) 涼山登山

宮野地域交流センター～涼山登山口～涼山山頂～スポーツの森～宮野地域交流センター
(歩行距離約7km)

E コース (健脚向き) 江良不動尊～仁壁神社叢

宮野地域交流センター～宮野駅のカイツカイブキ～明王の不動尊・不動明王の滝～護国神社～仁壁神社の社叢～宮野地域交流センター
(歩行距離約12km)

F コース (健脚向き) 宮野湖周遊

宮野地域交流センター～旧石州街道～砕石場～荒谷ダム～宮野湖周遊～山口ふれあい館～宮野地域交流センター
(歩行距離約15km)

G コース (健脚向き) 岩杖・木戸山公園

宮野地域交流センター～旧街道・山口ふれあい館～岩杖川～マロニエの森キャンプ場～木戸山公園～宮野地域交流センター
(歩行距離約13km)

